

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第63号

平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。

滋賀の医療福祉を守り育てる県民フォーラム
野洲文化小劇場 (11/11)

来場者数は 300
名！ご参加あり
がとうございま
した！

【オープニング】

藤舎伝生さん、杵屋寿哉さんによる横笛と長唄三味線の二重演奏

和楽器の生の演奏と楽器の解説をしていただきました。

迫力のある演奏に息を呑み、わかりやすくおもしろい解説は和楽器の奥深さを知るきっかけとなりました。



【記念講演】

テーマ「最期まで自分らしく暮らすために」

講師：上野千鶴子 氏 (社会学者・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク〈WAN〉理事長)

上野先生には、医療と介護の現状とその方向性、「死」についての考え方の変遷、在宅でのひとり死についての考え等を講演頂きました。

在宅でのひとり死はできる時代になっています。

参加者の感想

- ・在宅でひとりで死を迎えることは決して悲観するような事ではなく、数あるターミナルケアのうちの1つとして選択してもよいものと学ぶことができた。
- ・「死」という暗くなりがちな話題を笑いを交えてわかり易く話しながらも、内容はとても重要で大いに考えさせられました。
- ・認知症にかかったらもう暗い世界しかないと思っていましたがなんかもっと気楽に考えてもいいんだと背中をおされホッとしました。

【啓発劇】 テーマ「もし、わたしが認知症になったら」

脚本：滋賀医科大学 国際保健・地域医療研究会 TukTuk 出演：医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 会員有志

今年も地域創造会議の会員有志による啓発劇を行いました。もしも私が、家族が、認知症になったらどういう経過をたどり、どのようなサービスを受けられるのでしょうか。そのような疑問を、家族や本人の心情を交えつつ、認知症の発症から施設の入居までの期間を順に追って説明していきました。短い練習期間ながらも、アドリブを交えつつ、時には参加者の笑いを誘った啓発劇は実施後のアンケートでも好評を頂きました。会員有志の皆様、ありがとうございました。

→懇親会
←啓発劇



次回のワーキンググループ会議

日時：12月18日(火)

場所：草津まちづくりセンター 301号室

話題提供：「排泄ケアⅡ～排便コントロール～」

講師：山口 昌子 さん

(NPO快適な排尿をめざす全国ネットの会 理事)

2月3日(日)

草津イオンモールにて

みとりフェス開催予定！！

(詳細はHP・facebookまで)

医療福祉・在宅看取りの
地域創造会議運営事務局
中村愛子・三上有紀子

